

本古知新

論語にある「温故知新」をもとにして図書館といえば「本」、五所川原市立図書館といえば「古」くからの郷土資料が多く揃っているという当館らしいタイトルを考えました。読み方は「ほんっころしん」と津軽弁で読んでください。
※ ろ は津軽弁独特の「ち」と「つ」の中間の発音です。

五所川原市立図書館開館45周年記念

未来に伝えたい45冊
1977 ~ 2021



津軽新田物語
五所川原市立南小学校
第17回卒業生 1977



リアスのうみべさんてつがゆく
宇部京子 作 さいとうゆきこ 絵
岩崎書店 2021



きょうはなんのひ?
瀬田貞二 作 林明子 絵
福音館書店 1979



川
前川かずお 作
こぐま社 1981



しんかんせんでも
どんかんせんでも
かこさとし 作 童心社
1983



はしれ、きたかぜ号
渡辺有一 作
童心社 1985



ユックリとジョジョニ
荒井良二 作
ほるぷ出版 1991



ライオンのしごと
竹田津実 作 あべ弘士 絵
偕成社 2004



かぞえかたいろいろ
すなやまえみこ 作・絵
ポトス出版 2017



パパのしごとはわるものです
板橋雅弘 作 吉田尚令 絵
岩崎書店 2011



しおがらば
芥川翔 作・絵
北の街社 2008



ちょっとだけ
瀧村有子 作
鈴木永子 絵
福音館書店 2007

市立図書館が開館した
1977年から2021年までに
発行された児童書の中から、
当館司書が未来に伝えたい本を
年ごとに1冊ずつ選びました。
45冊の中に、お父さん、
お母さん、おじいちゃん、
おばあちゃんの思い出の本が
あったら嬉しいです。



【表紙第13号】佐藤さんファミリー

図書館の本を借りるときは、必ず4人全員が10冊
借りていってくれます！ お気に入りの本は、
「にげてさがして」「最上のほめ方」「ロボット世界の
サバイバル」「おとしだまをいっぱいもらうコツ」
です。

発行 五所川原市立図書館

〒037-0046

五所川原市字栄町119

TEL: 0173-34-4334

FAX: 0173-34-3256

E-mail: tosyokan@city.goshogawara.lg.jp



小学校第一学年貸出促進事業
「図書館1年生」

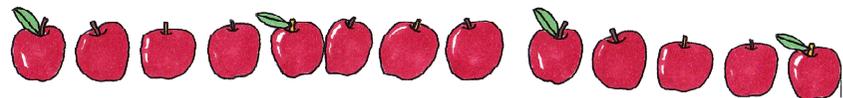
当館では、毎月当館司書が市内全小中学校を訪問し、図書室の本の整理や、本の購入、授業で使用する本の配本などといった学校支援を行っています。また、図書室には市立図書館と同じように、貸出・返却・資料検索、蔵書冊数や貸出冊数などが把握できる図書システムを導入し、本や図書室を活用するための準備を整えてきました。次のステップとして、図書室の機能をフルに活用してもらうために、まず、子どもたちに基本を教えなくては！と考え、今年4月から「小学校1年生への図書館利用指導」を実施しました。小学校1年生を対象にした理由は、入学してはじめて図書室という場所に出会い、家庭での読書のほかに、はじめて読書をする場所ができるため、少しでも最初の段階で基本をしっかりとっておいてほしいという思いがあったからです。早速、希望する学校へ訪問し、45分の授業として実施しました。



指導内容は、図書室や市立図書館の本の背に貼ってある3段シールは、「本のおうち」を表していること、そのシールの1段目にある3桁の数字は、本の内容を表していること（日本十進分類法）、本の並び方の3つを教え、そのあとに、くじを引き、書かれてある内容の本を探すというゲームを行いました。

市内小学校11校のうち8校が実施済みで、市立図書館にもたくさんの1年生が本を借りに来てくれました。

小説や絵本を読むことだけが読書ではありません。自分の好きな本を読むことも立派な読書です。この授業を通して、自分の好きな本がどこにあるのかを自分で見つけられたら、読書がもっと楽しくなるはずです。



子ども司書養成講座最終課題
「ポプラディアを使って調べたことをまとめよう」

今年も、図書館や本のことを学び、学校や家庭、地域で読書の楽しさを伝える読書リーダーを育てる講座「子ども司書養成講座」を実施し、8名が「五所川原子ども司書」として認定されました。最終課題は、「ねぶた」「ジンベイザメ」「土偶」「カレーライス」「山の日」「戦争」「きゅうり」「ウイルス」の中からひとつキーワードを選び、『ポプラディア』と図書館の本、インターネットを活用して調べてもらいました。

最終課題 キーワード「ねぶた」	名前
<p>①索引巻で調べよう</p> <p>見出し語 <input type="text" value="ねぶた"/></p> <p>掲載巻 [12]巻</p> <p>掲載ページ [193]ページ</p>	<p>④図書館の本で調べよう</p> <p>書誌情報、請求記号 『日本の祭り④北海道・東北編』2014年10月(386/G1) 発行者 さいとう ひろ達・編集 吉田 明彦</p> <p>わかったこと 青森ねぶた祭(青森市)・弘前ねぶたまり(弘前市) 黒石ねぶた祭り(黒石市)・立佞武多祭り(五所川原市) 大湊ネブタ(むつ市大湊地区) ねぶたは青森市だけでなく、北東北の各部に分布しています。土地の方言によって、「ねぶた」「ねぶた」など、よび方がちがいで、「佞武多」の漢字をあてることもあります。</p>
<p>②掲載巻で調べよう</p> <p>青森県の青森市や弘前市をはじめとする東北地方の各地でおこなわれる祭り。弘前市などでは「ねぶた」という。弘前市のねぶた祭りは8月1日から7日に開きされる。青森市では8月2日から7日に開きされる。「すいまの豆の葉やネムノキの葉でござり」として川や海へ流す健康にすこせるというしんこうから生まれた祭り。大きな張り子の人形や扇に飾りし上の人物などがいている。</p>	<p>⑤インターネットで調べよう</p> <p>2022年は、一斉スタート方式(右回り)から、1台ずつ運行する川原スタート方式(左回り)に変更。(青森ねぶたHPより)</p>
<p>③NDC [291 . 386]</p>	

ポプラ社ホームページ「Hello!ポプラディア活用事例」にも紹介されました!



生まれた時から図書館利用者です

- 貸出券は、赤ちゃん(0歳)から無料で作ることができます。
- セルフ貸出機を使えば、自分がこれまで何冊借りたかがわかります。
- 貸出券の作り方は、カウンターで申込みしていただくか、市立図書館HP「図書館貸出券交付申込(電子申請)」から申込みができます!



10/14頃公開です!